

# 市制100周年特集 尼崎市をささえる 水道・下水道

尼崎市は、大正5(1916)年に誕生し今年市制100周年を迎えます。水道が創設されたのは、その2年後の大正7(1918)年。昭和32(1957)年には工業用水の供給が、昭和34(1959)年には公共下水道の供用が始まりました。現在では水道も下水道も皆さまの暮らしに欠かせないものとなっています。今号では尼崎市100年の歴史を水道・下水道がどのように支えてきたのか見てみましょう。



水道の歴史だよ

大正時代

100年続く  
水道事業の始まり

水道がなかったころは、井戸水や川の水を使っていたため、コレラなどの伝染病が流行する危険があり、公衆衛生の改善が急がれました。苦労の末、大正7(1918)年10月1日に水道ができ、市民は安心して水を使うことができるようになりました。

**ポイント** 「町」ではできなかつたことだね

明治時代の尼崎町でも水道をつくろうという動きはあったんだよ。でもたくさんのお金がかかるため、まず「市」になってから国からたくさんお金�を借りる必要があったんだよ。

## 水道が誕生したころは…

尼崎市に水道をつくろうとしたときは、第一次世界大戦中で水道管の材料となる鉄などがとても高く、やむを得ず市議会で木管の使用が可決されました。今でも当時使用された木管が時々出土しています。

**ポイント** 「町」ではできなかつたことだね

明治時代の尼崎町でも水道をつくろうという動きはあったんだよ。でもたくさんのお金がかかるため、まず「市」になってから国からたくさんお金�を借りる必要があったんだよ。

昭和時代

## 水源を変更

市の水道は急激に普及し、急成長する工業や産業を支えていましたが、工場排水で水源としていた神崎川が汚染され、取水ができなくなりました。

そこで昭和3(1928)年「尼崎百年の大計」として、淀川(大阪市)に水源を変更しました。

**ポイント** 工業用水もスタート

昭和の初期から戦後にかけて、尼崎市の工業はめざましい発展をとげたんじや。地下水を汲み上げて使う工場などが多かったことから、地盤沈下を防ぎ、工業用水の安定的な供給を目的に工業用水道事業が始まったんじや。

全国にさきがけ  
オゾン処理設備導入!!

昭和40年代の半ばに琵琶湖でカビ臭の原因となるプランクトンが異常発生したため、昭和48(1973)年に安心して使える水質を目指し、神崎浄水場に全国初のオゾン処理設備をつくりました。

**ポイント** 歴史に刻まれた施設ね

この施設は、昭和60(1985)年に、歴史的に技術的にも価値のある水道施設として「近代水道百選」に選ばれたの。

平成時代

## ビジョンに基づく経営

平成22(2010)年に、今後の目標すべき将来像や実現に向けた課題解決の方向性をまとめた「水道・工業用水道ビジョンあまがさき」を策定し、今年3月にビジョンに基づく平成31(2019)年度までの4年間の事業運営方針を定めました。

人口が減り、節水機器が普及するなどして、水道水の使用量や料金収入が減少しており、今後もその傾向は続くものと考えています。また、施設を更新するための多額の費用も必要です。その中で、今後も安定して水道水をお届けするために、この4年間で重点的に取り組む項目を決めました。

**ポイント** 重点項目は次の4つなんだ

- ・施設能力の適正化への取組み
- ・組織や業務のあり方の見直し
- ・次期ビジョンを見据えた中長期的な計画策定
- ・人材育成と技術継承

下水道の歴史だよ

## 下水道ができたわけ

戦後急成長する尼崎市にとっての最大の課題は、工場の地下水汲み上げによって生じた地盤沈下対策でした。この地盤沈下により高潮浸水被害が頻発し、特に昭和25(1950)年のジェーン台風では、深刻な被害を受けたため、大防潮堤の建設、工業用水道の建設とともに、浸水対策を主目的とした下水道事業が始まりました。

**ポイント** 尼崎市を横から見ると

尼崎市は市域の約30%がゼロメートル地帯となっているから、整備される前は、たびたび浸水被害が起っていたんじや。



## 下水道の普及

浸水対策を主目的に下水道の整備を進めてきましたが、一方で河川の水質汚濁が深刻な問題となり、昭和50年代からは污水処理のための下水道整備を市の最重要施策として、急ピッチで進めるようになりました。この目的をできるだけ早く効果的に達成するため、尼崎市は雨水と污水を一本の管に集める合流管を採用し、合流管が全体の90%以上を占める全国でも珍しい都市です。

**ポイント** 環境に優しい下水道だよ

現在では、ほとんどの生活排水を公共下水道で処理し、残りも浄化槽やし尿の汲み取りで処理することで、生活排水をほぼ100%処理しているんだって。



## これからの下水道

このように早くから下水道整備に取り組んだ結果、平成8(1996)年頃には整備率はほぼ100%になりました。一方で老朽化の進んだ施設の改修や大雨への対策など多くの課題を抱えています。そこで平成24(2012)年に目指すべき方向性を定めた「尼崎市下水道中期ビジョン」を策定し、課題への取組みを効率的、効果的に進めています。

**ポイント** 目指すのは暮らしと街と環境を守る下水道ね

尼崎市下水道中期ビジョンは、市役所ホームページで見ることができます。



## 下水道部からのお知らせ

## “下水道”雨水貯留タンクの設置費用の一部を助成します

雨水貯留タンクには、大量に降った雨水が、一気に下水道に流れ込むのを緩和し、浸水被害を軽減する効果があります。

助成額…市内業者から購入した場合は購入費用の2分の1、市外業者から購入した場合は3分の1。いずれも限度額は3万円。

対象…市内在住もしくは市内事業者。タンクの容量が80t以上など、ほかにも要件あり。

申込み方法…平成28年4月1日～平成29年1月31日の間に、所定の申請書などをを持って、市役所中館9階下水道部計画担当へ。

申請書などは同担当で配布しています。市のホームページから印刷もできます。必ず購入前に申請してください。予算額に達し次第終了します。

尼崎雨水 検索

## けいじばん

## 尼崎市市制100周年記念事業

## 第45回尼崎市民まつりに出展します

10月8日(土)、9日(日)に開催される第45回尼崎市民まつりに水道局、下水道部も参加します。皆さまのご来場お待ちしています。

**水道局** 日時：10月9日(日) 10:00～16:00  
場所：サンシック尼崎3階会議室  
内容：水の飲みくらべ、実験教室、啓発グッズの配布



**下水道部** 日時：10月8日(土)、9日(日)  
場所：阪神尼崎駅前  
内容：100周年記念マンホールの紹介、顕微鏡での微生物観察など

## 水道局職員、下水道部職員や業者をかたる詐欺に注意!

尼崎市内で、水道局職員や下水道部職員や、市から委託されている業者をかたつたりして、皆さまのご家庭を訪問し、高額な商品を売りつけたり法外な修理代金を要求したりするトラブルが発生しています。

悪質業者の手口と対策を知っておき、未然にトラブルを防ぎましょう。

## ■実際にあった事例(水道)：

- ①市民の皆さまから依頼のない戸別訪問による水質検査や点検
- ②水道管などの洗浄を勧める
- ③浄水器などの器具の販売など

## ■実際にあった事例(下水道)：汚水マスの点検商法

「お家の汚水マスを見せてください。」と言って家に上がりこみ、「このまま放置しておけば修理に高額な費用がかかるが、今なら安価で修理できる。」と早急な工事を勧めてきた。

水道局：<http://amasui.org/service/000103.html>

下水道部：[http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/ansin/kiotukete/087\\_kobetu.html](http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/ansin/kiotukete/087_kobetu.html)

## お問い合わせ

## 水道はこちらへ

水道局電話受付センター

☎ 06-6375-0002

毎日\*午前8時45分～午後5時30分まで受け付けています。  
※12月29日～1月3日を除く。

上の時間外・年末年始の緊急時は水道局警備室

TEL.06-6489-7400 FAX.06-6375-0124

## 下水道はこちらへ

平日の午前8時45分～午後5時30分まで受け付けています。

## ●下水道使用料について

## 【下水道部経営企画課】

☎ 06-6489-6555

●道路のマンホールから汚水があふれている

## 【下水道部建設課】

☎ 06-6489-6562

